



議案第1号

令和2年度 富士見町一般会計補正予算（第3号）の専決処分

第508回

臨時議会
令和2年7月10日

新型コロナ緊急対策ほか
歳入歳出予算総額

6111.9万円 追加

商工費 3750万円

- 商工振興事業補助金 3600万円
- 新規デリバリー補助 150万円

教育費 2316.9万円

- 小学校立木伐採 1455.3万円
- 小中学校感染対策換気網戸 861.6万円

民生費 45万円

- 保育園感染対策換気網戸 45万円

議員の視点

問 商工振興補助金の内訳として、売上減少等の条件はどのようなになっているか。

答 先月上、または前年同月上が5%以上減少している者が対象となる。

議案第2号

令和2年度 富士見町一般会計補正予算（第4号）

新型コロナ追加対策
歳入歳出予算総額

3億4866.1万円 追加

総務費 9156.5万円

- コワーキング利用者補助 373.5万円
- 防災ステーション 2400万円
- 第2体育館前舗装 3580万円
- 発電機機能改修 200万円
- 段ボールバット 60組
- 離隔シート・AIカメラ 計1666.8万円
- WEB会議対応ネットワーク整備 767.5万円

民生費 1995万円

- 医療機関感染拡大防止奨励金 165万円
- 医療機関感染拡大防止奨励金 35万円
- ひとり親世帯臨時特別給付金 3万円×20名60万円
- 保育園 マスク・消毒・レバー水栓交換 265万円
- 子育て支援施設等緊急整備事業 500万円
- 臨時特別出産祝い金 970万円

教育費 6963.5万円

- マスク・体温計 47.5万円
- GIGAスクール環境整備事業
- GIGAスクール消耗品費 104万円
- GIGAスクールサポーター 418万円
- GIGAスクールwi-fiルーター 430.5万円
- GIGAスクールPC購入1143台5143.5万円
- GIGAスクール小学校費 410万円
- GIGAスクール中学校費 180万円
- 同級会支援4人以上 年3回 200万円
- 社会教育施設雇用対策事業 30万円

衛生費 2299.5万円

- 医療機関等感染拡大防止対策奨励金 900万円
- 感染症患者受入医療機関支援事業 200万円
- 発熱外来窓口設置医療機関支援事業 150万円
- 感染防護用具等消耗品・保管備品 50万円
- 保健センターwi-fi環境構築整備他 314万円
- 保健センターエアコン設置工事 685.5万円

商工費 1億2060万円

- 応援商品券 6000円×人口×使用率70%
- 商店補助金 100万円
- 観光補助金 100万円
- 宣伝広告 700万円
- 入笠山環境整備 600万円
- 創造の森環境整備 600万円
- 施設借上 3000万円
- 販売促進用備品 300万円

37事業
自然災害 + 新型コロナ対策

を審議。承認・可決。

議員の視点

問 臨時特別出産祝い金の内訳は。

答 支給内容は2つに区分し、4月1日から4月27日に出産の場合は一世帯あたり1万円、4月28日から来年3月31日までに出産の場合は一世帯あたり11万円を支給する。

問 防災ステーションの建設場所はどこを予定しているのか？

答 確定ではないが、第2体育館が物資の流通拠点になる事を踏まえ体育館駐車場の一部分、あるいは緑地の芝生部分を想定している。

問 防災ステーションの規模、形状は。

答 平屋建て160数㎡、コンクリート床でフォークリフトの利用が可能なものを想定している。

問 緊急経済対策事業の段ボールバット購入について、過去の実績と今回の内容を具体的に。

答 既存の段ボールバットは各2次避難所に数組程度あるが数は把握していない。非常時に即座に入手できるものと考えていたが、コロナ禍の中ではその対応が困難と考え、今回60組を購入予定。配備内訳は旧落合小学校を含めた4小学校と町民センター、役場庁舎の6か所に各10組を配備する。

問 応援商品券の金額が町民一人当たり6000円とすると、予算計上額6100万円では足りないと思うが。

答 6000円に人口14500人を掛けると8700万円になるが、使用率70%を想定している。

問 事業の活性化と並行して大切になるのが感染予防対策である。町民が安心して店舗を利用し、また事業者も安心して町民を迎えられる安全対策についての補助金は商店・観光の部分の予算に含まれているのか。

答 現行店舗への感染予防対策についての支援は考えていないが、応援商品券等によりしっかりと売上を確保して頂き、その中から対策を講じて頂きたい。

問 GIGAスクール環境整備事業にwi-fiルーターレンタルとあるが数等の内訳は。

答 90%～95%の家庭でwi-fi環境が整っている事は確認済みではあるが、1クラス当たり5台のwi-fiルーターのレンタル代として予算計上している。

問 応援商品券取扱店舗数の推移は。

答 当初の店舗数は77店舗。現在85店舗まで増加。随時参加店舗を募集していく。